

# 逃げ上手の若君

に じ り ち せ い 松 井 優 征

第27話 一心赴死 1334

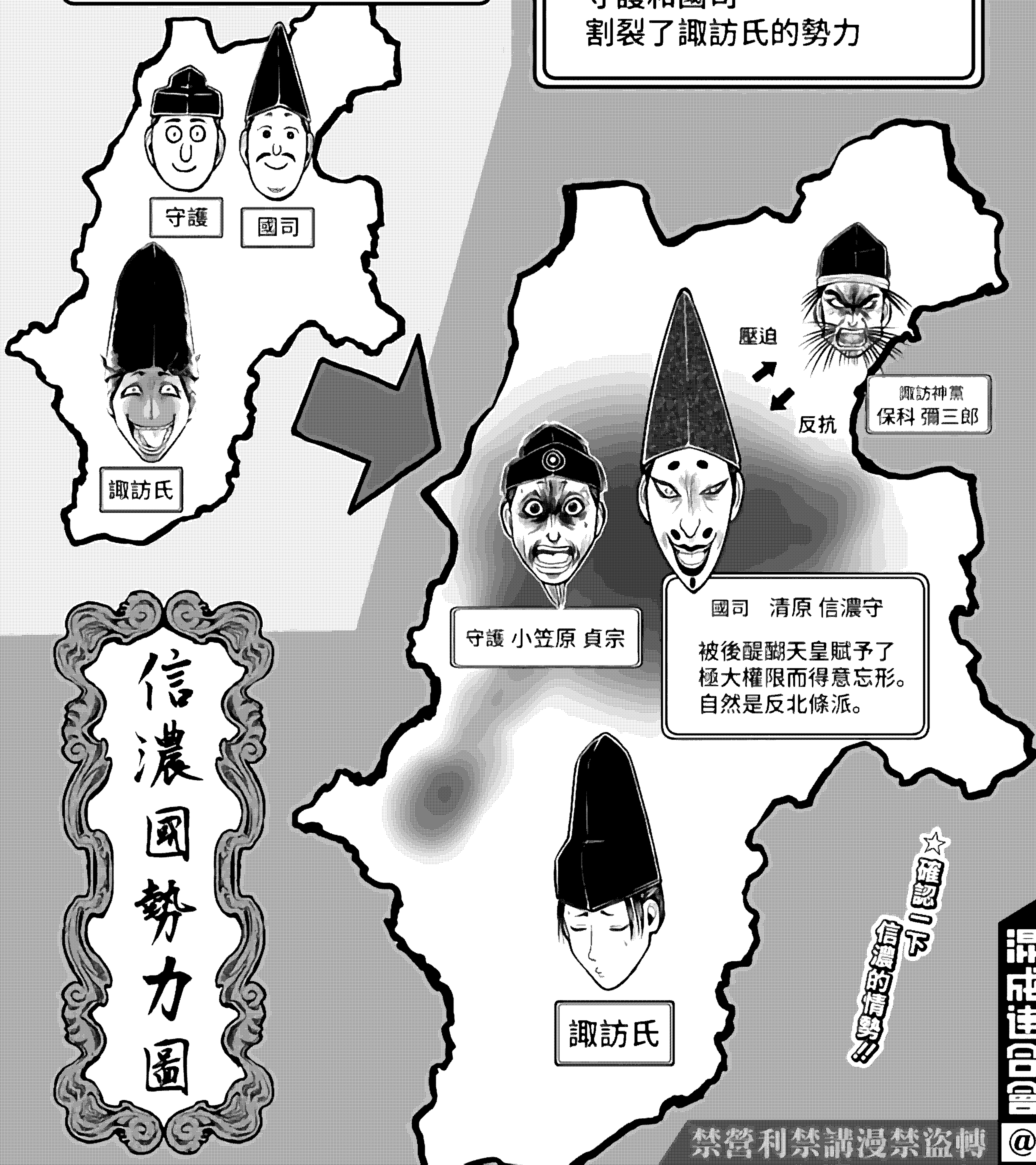
まつ い ゆうせい  
松井優征

## 鎌倉時代

守護 → 北條氏  
國司 → 北條派的貴族  
最大實力 → 北條郎黨諏訪氏  
一國上下堅如磐石

## 鎌倉滅亡後

後醍醐天皇任命  
守護和國司  
割裂了諏訪氏勢力



信濃國勢力圖

守護 小笠原 貞宗

國司 清原 信濃守

被後醍醐天皇賦予了  
極大權限而得意忘形。  
自然是反北條派。

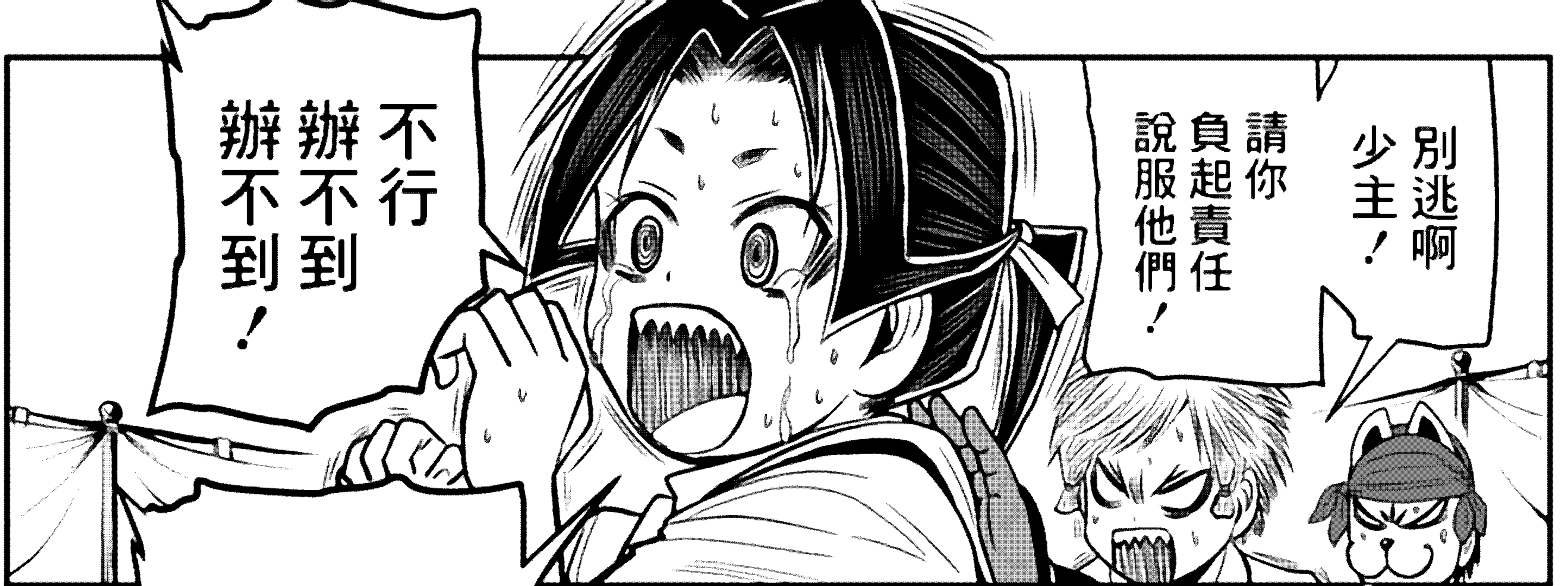
諏訪氏

☆確認一下  
信濃的情勢

禁營利禁講漫禁盜轉

漫遊者

@



不行  
辦不到  
辦不到！

別逃啊  
少主！  
請你  
負起責任  
說服他們！



一群  
死志已決的人  
事到如今還怎麼  
叫他們逃啊！

赴死吧！

★畢竟畫風不同……

赴死吧！

呀呀



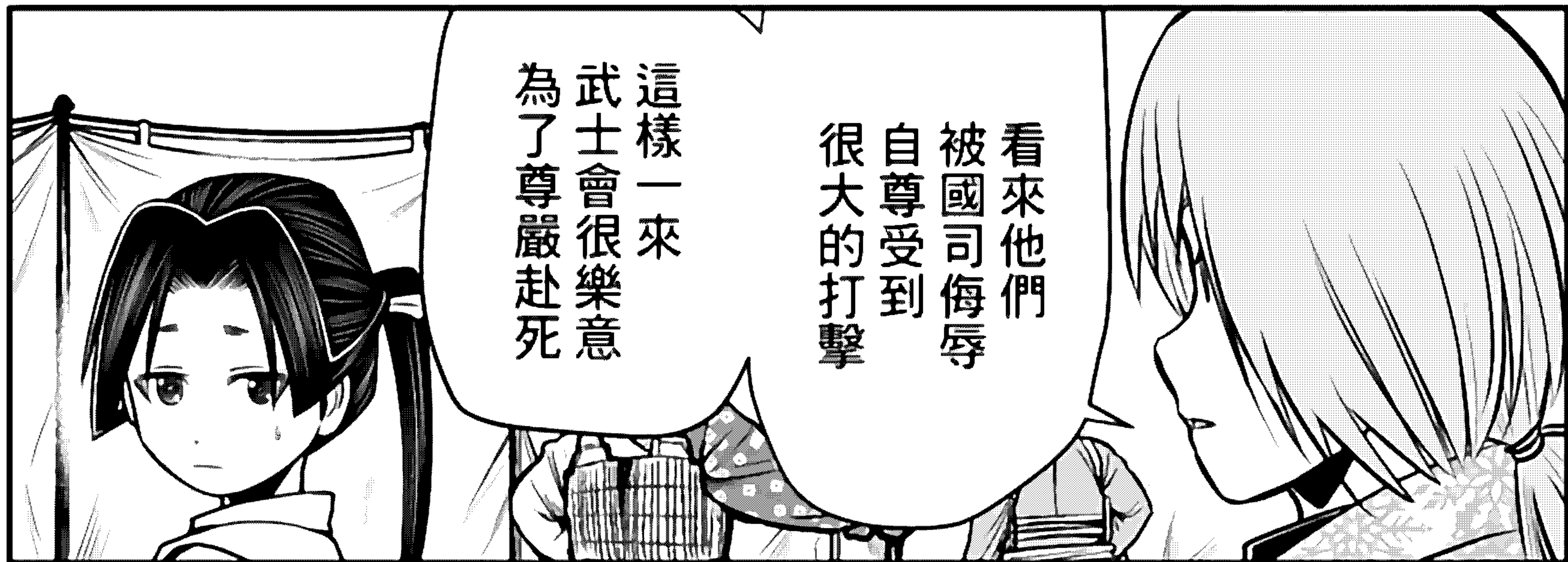
怎麼死  
好呢——

那我就  
失去雙臂後  
咬住敵人  
歸西！

百箭穿身後  
我會站著死去

喂！  
別把死  
說得像  
宴會小品！





看來他們  
被國司侮辱  
自尊受到  
很大的打擊

這樣一來  
武士會很樂意  
為了尊嚴赴死



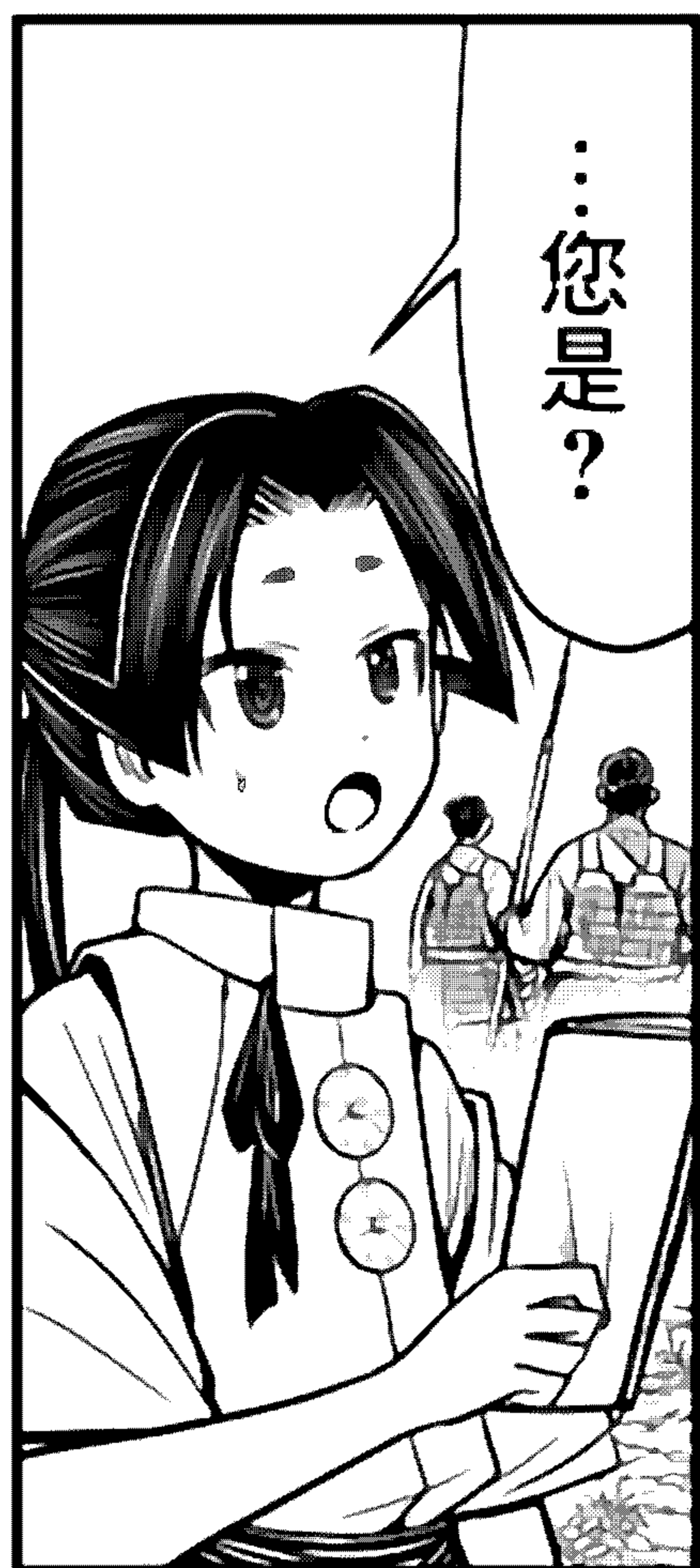
當我  
只剩一顆頭顱  
我會從敵方菊部侵入

將內臟  
吞食殆盡後  
從他胸口飛出  
再笑著死去

別說  
捍衛尊嚴了  
他單純就是個  
糟糕的人!!

翻譯 我不做人了

@

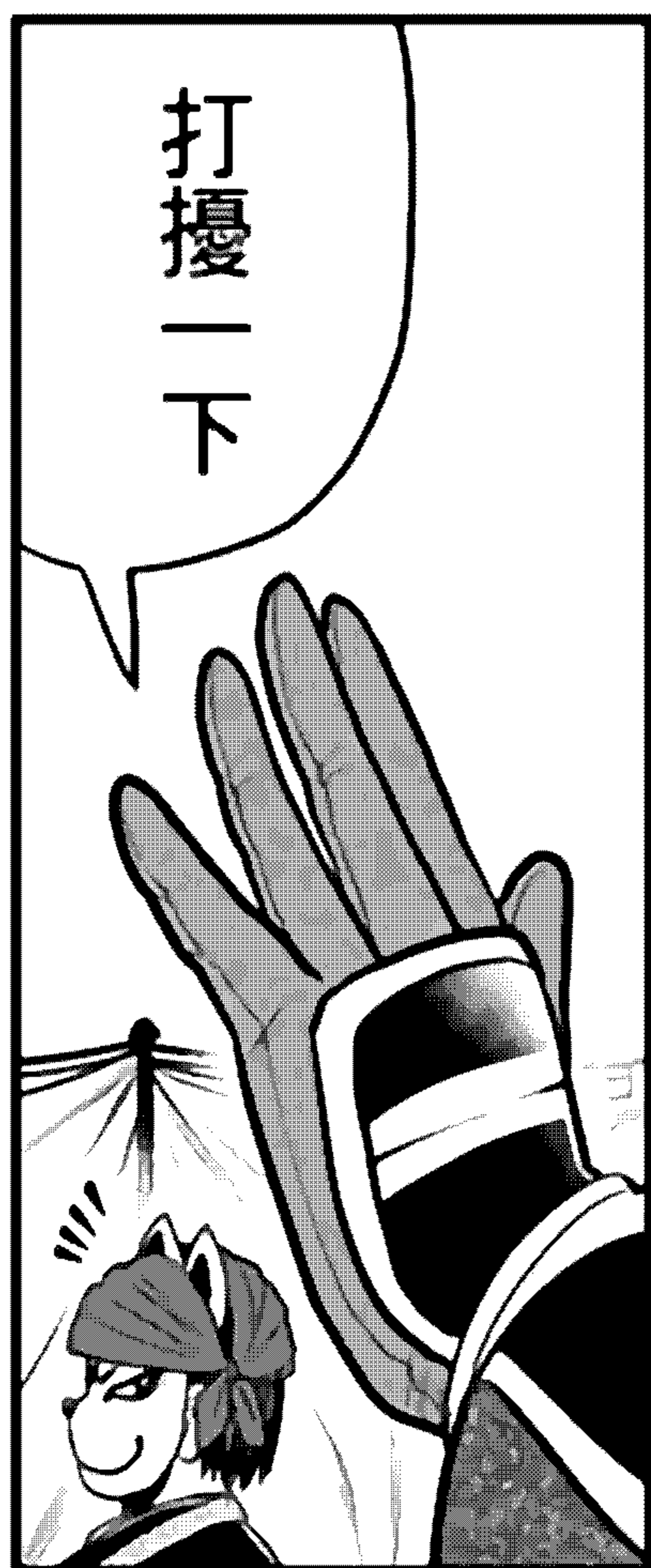


…您是？

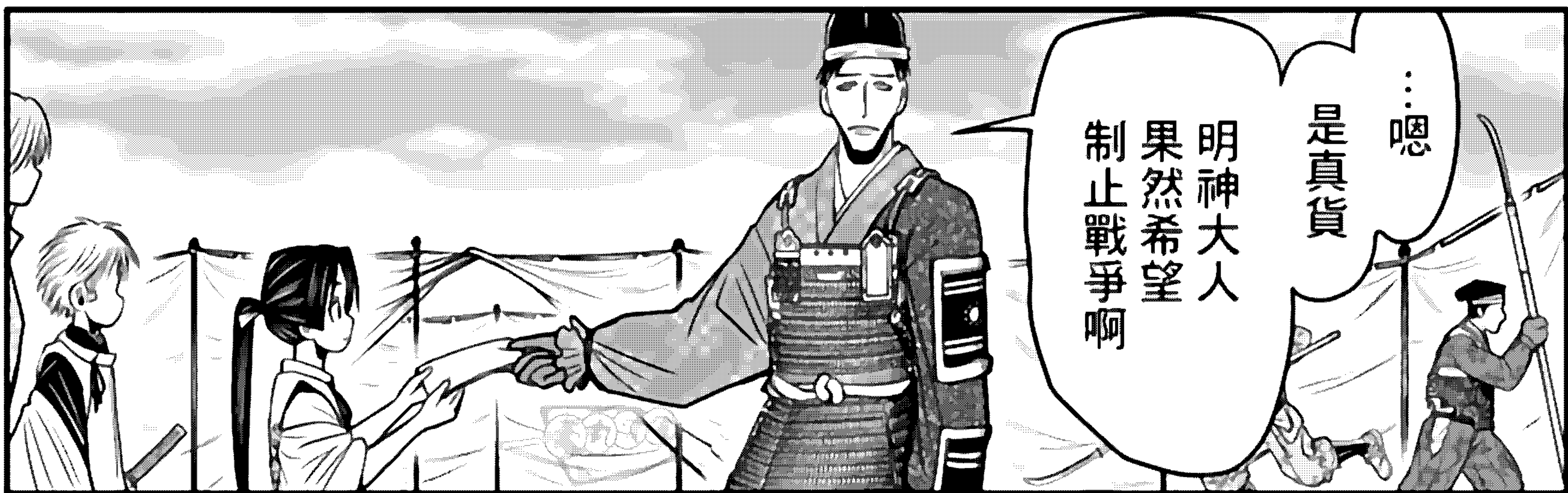


你們真的是  
諏訪大社の  
御使嗎？

看你們好像  
帶著書信  
麻煩給我看看



打擾一下





讓保科殿下  
逃走的話  
該往哪個方向？

翻過山  
向北

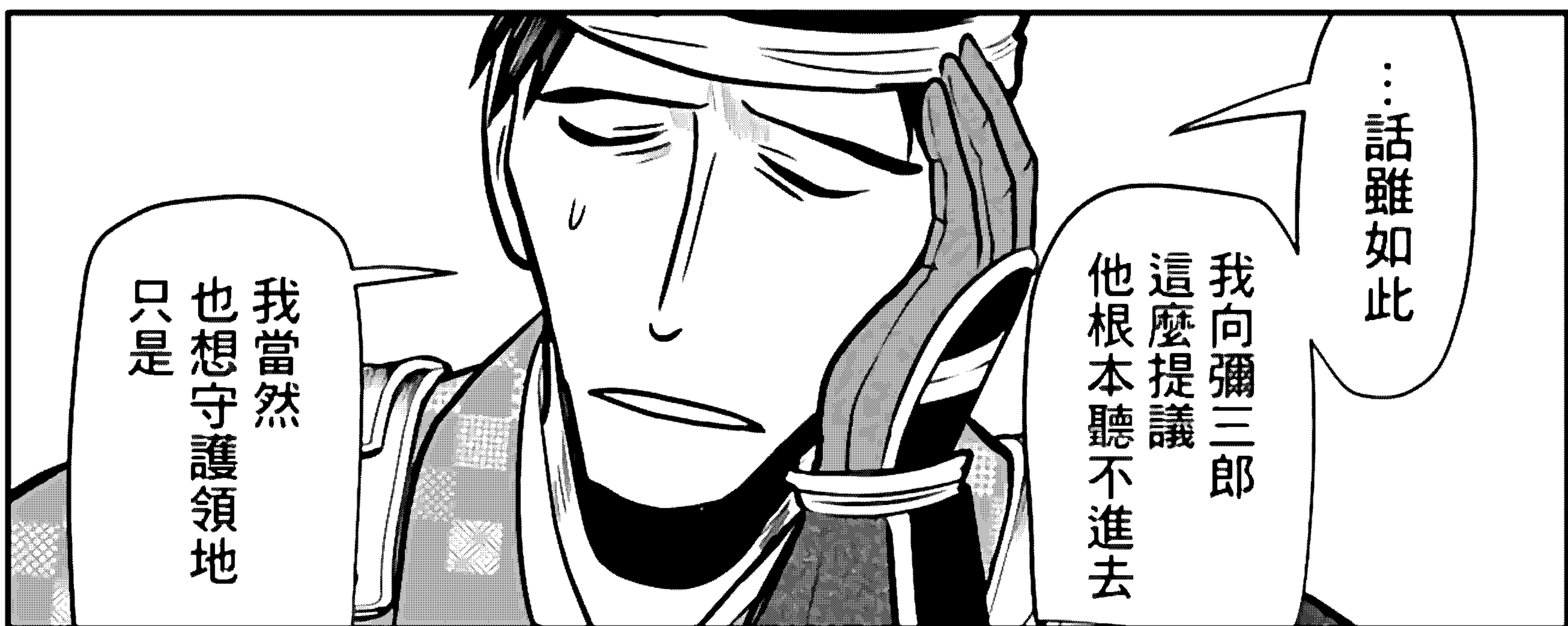
如果放棄  
保科領地南邊  
把兵力  
集中在北方  
就能聯合  
四宮領地  
構築堅實的防線了



…話雖如此

我向彌三郎  
這麼提議  
他根本聽不進去

我當然  
也想守護領地  
只是



老朽死之前  
要殺足  
一百人!!

啣——

不愧是殿下！

他從前就是這樣  
熱血上湧了  
就一發不可收拾

郎黨們也一樣



冷靜的時候  
倒是個  
能幹的好人

能想辦法  
阻止他送死嗎

你們既然是  
諏訪大社の御使  
或許能辦到吧

人手不夠  
可以叫我

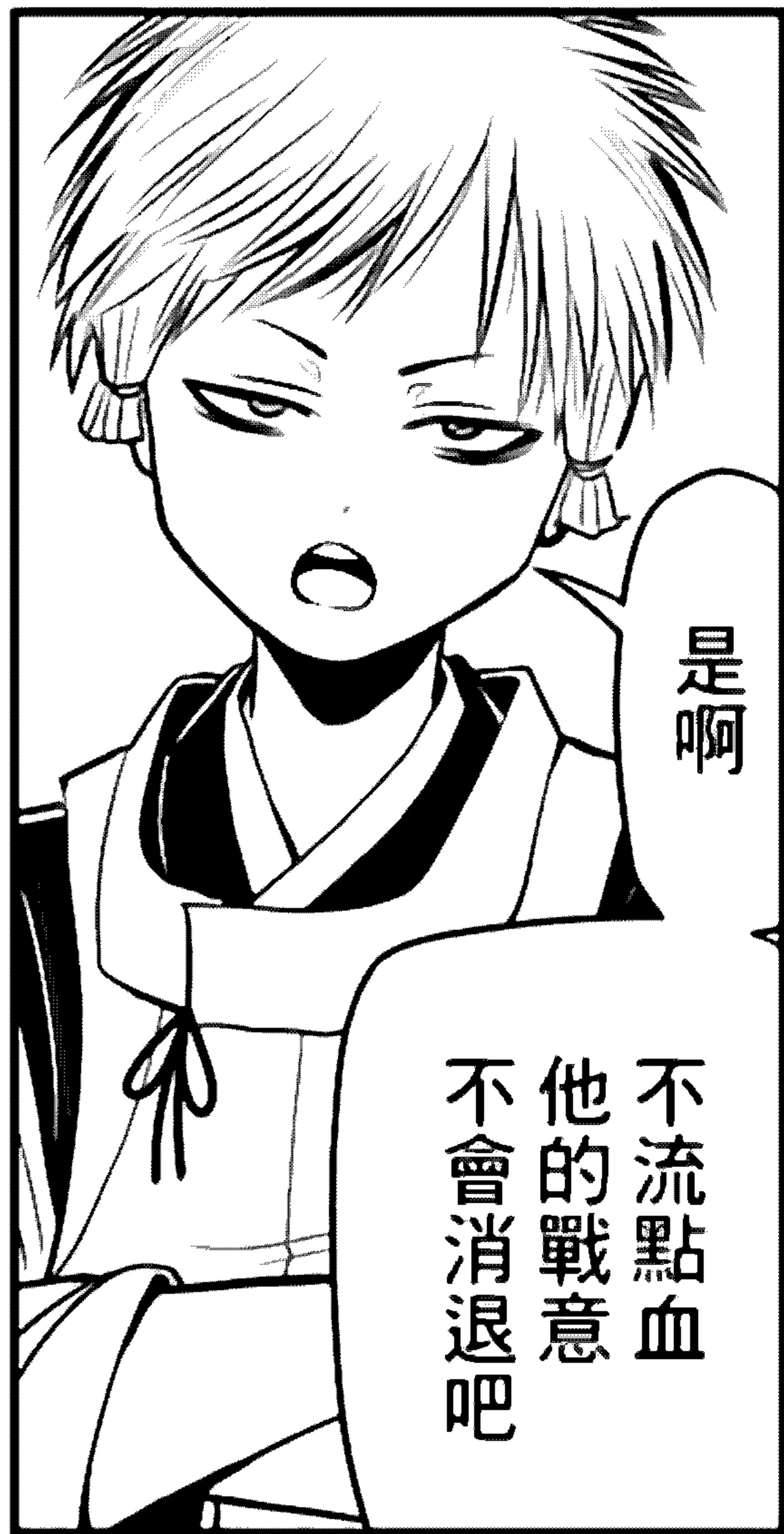
哦哦  
御使大人!!

請務必  
見證到最後  
轉告明神大人!!

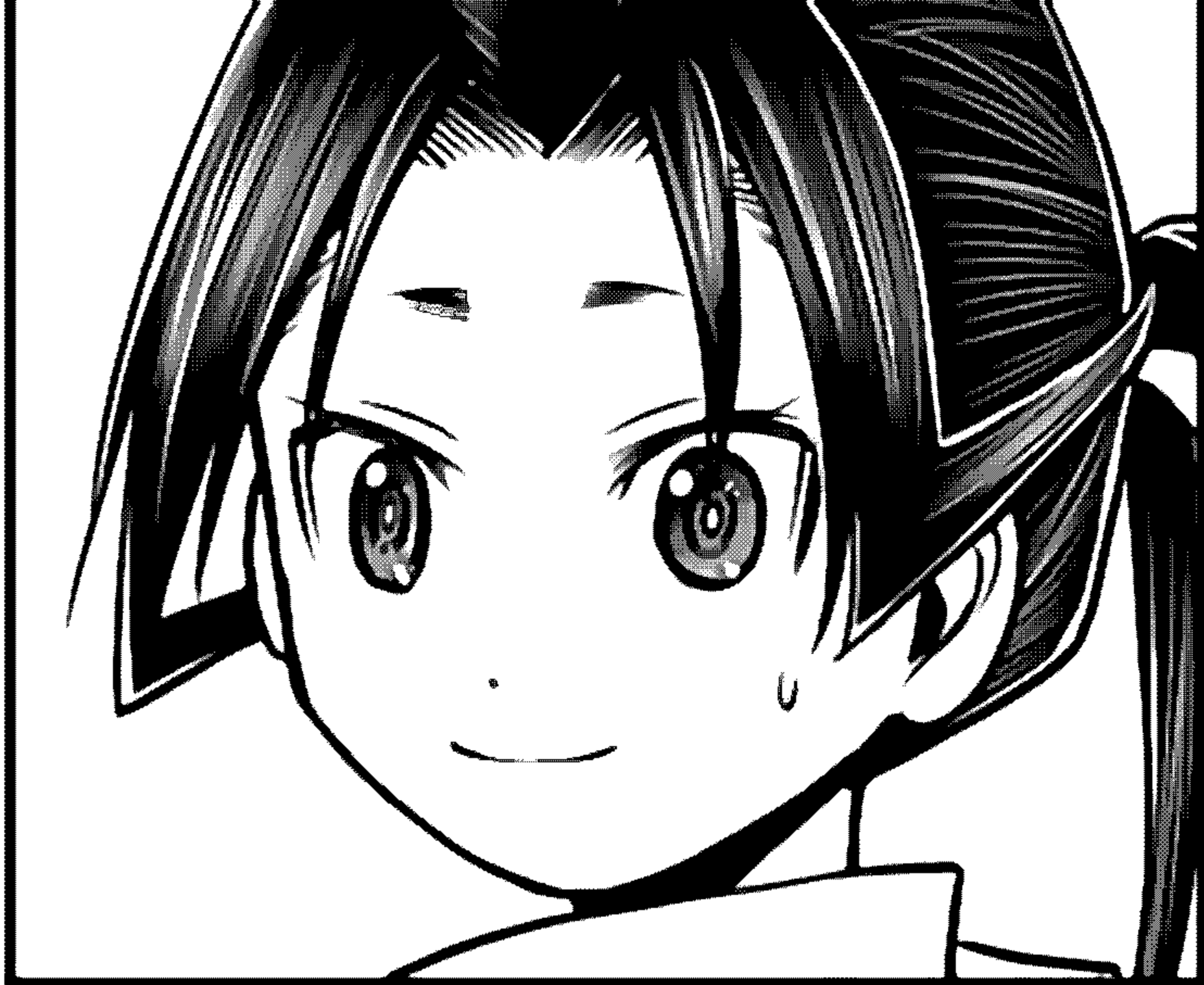
說保科彌三郎  
不負諏訪神黨之名  
光榮戰死了!!

加









逃了  
就算贏

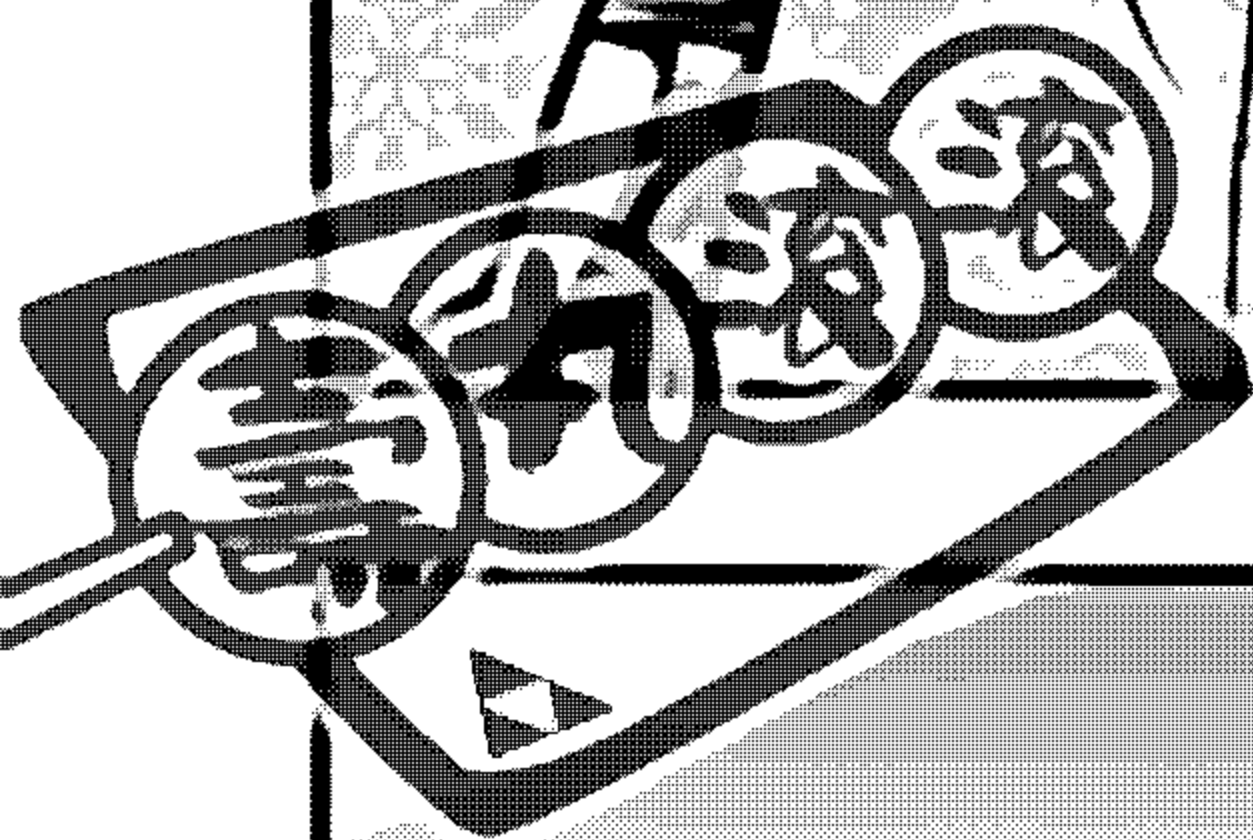
這種勝利條件  
也只有你能  
欣然接受啊



立刻著手  
準備吧



好



うおおおおお

哦哦哦哦

那群土狗  
戰意高昂  
開始嚎叫了





國司大人

您不用特意  
上戰場的

說什麼呢

親自指揮戰局  
贏得勝利  
才能宣揚  
國司的威望啊



麻呂只需  
一揮扇  
賊人就能化為  
屍山血海

這是朝廷裡  
無法品味的  
罪惡娛樂啊

禁營利禁講漫禁盜轉

漫成迷@



擔任國司護衛  
可是無上的光榮啊  
市河殿下！

可惜我  
眼睛腫了  
不能去

：  
貞宗殿下  
絕對是  
怕麻煩了

不就是  
把眼睛  
閉上了嗎





去吧  
米丸!

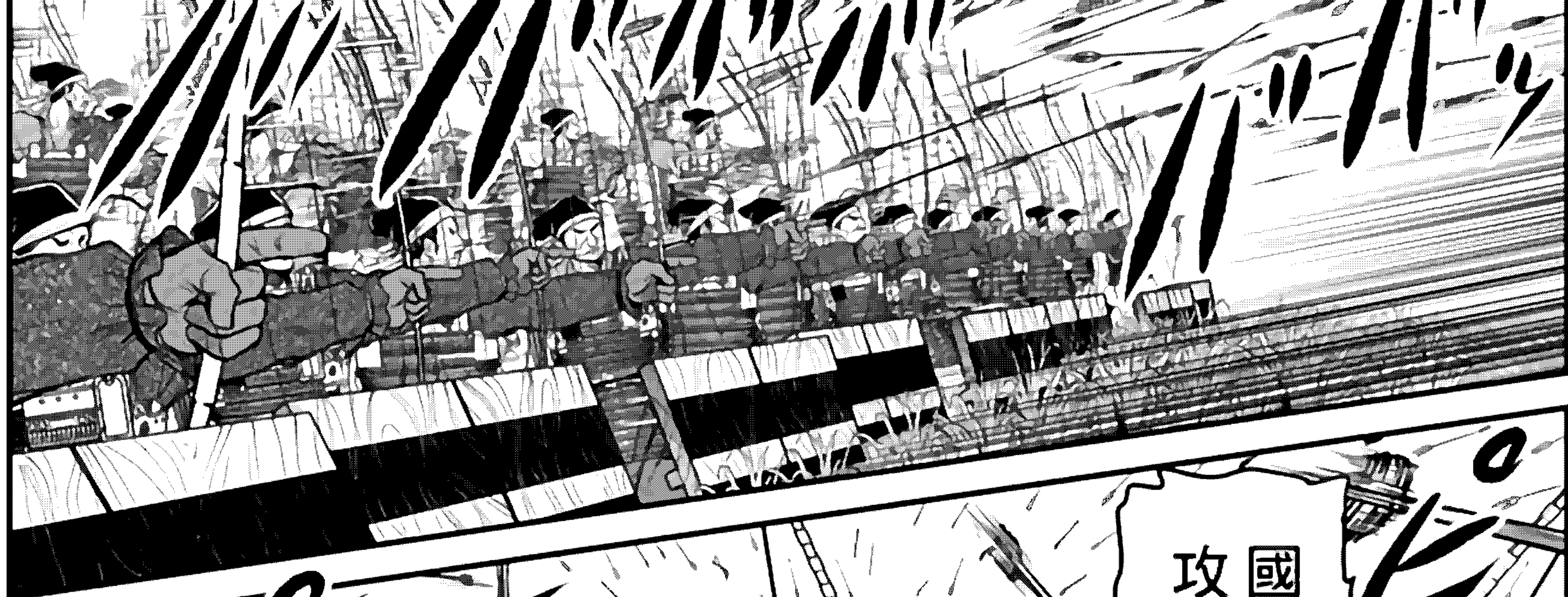
來吧!  
違抗  
麻呂世界的逆賊  
一律血祭!

哦啦

全體  
拉弓!

國司直屬武士團長  
米丸





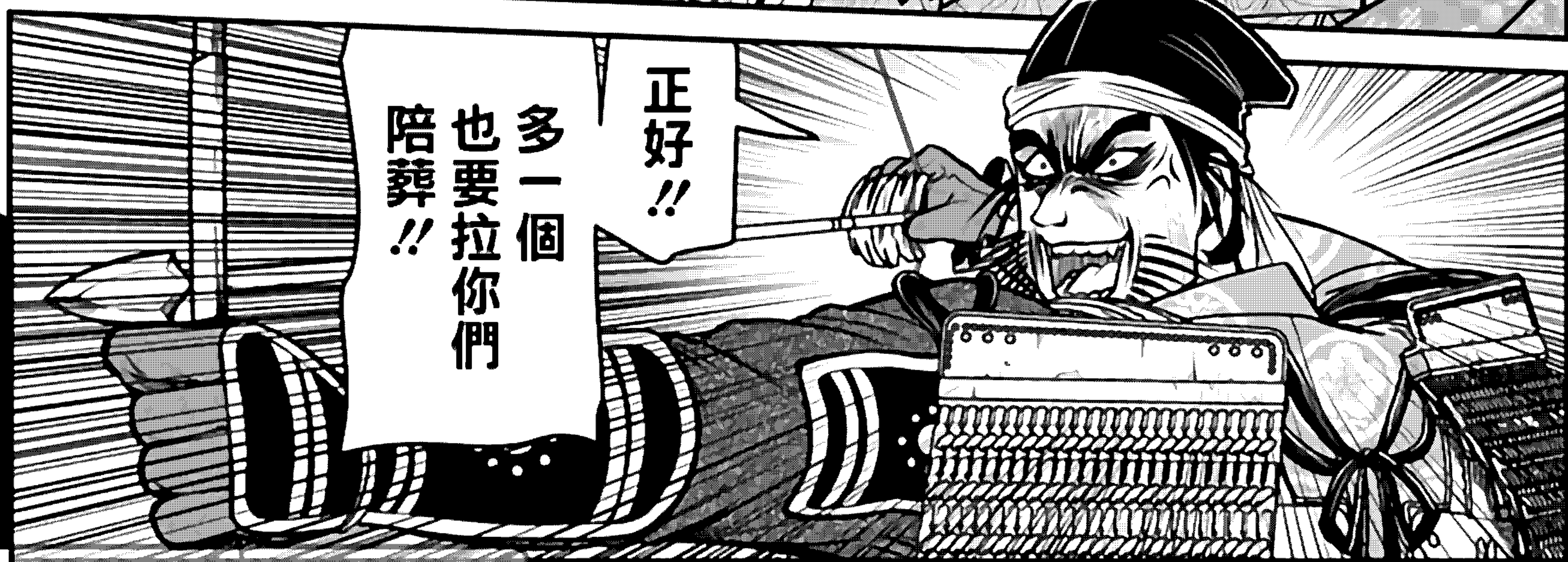
國司軍  
攻過來了

先是  
約定俗成的  
弓箭戰嗎！



用大量箭矢  
削弱我方戰力  
：

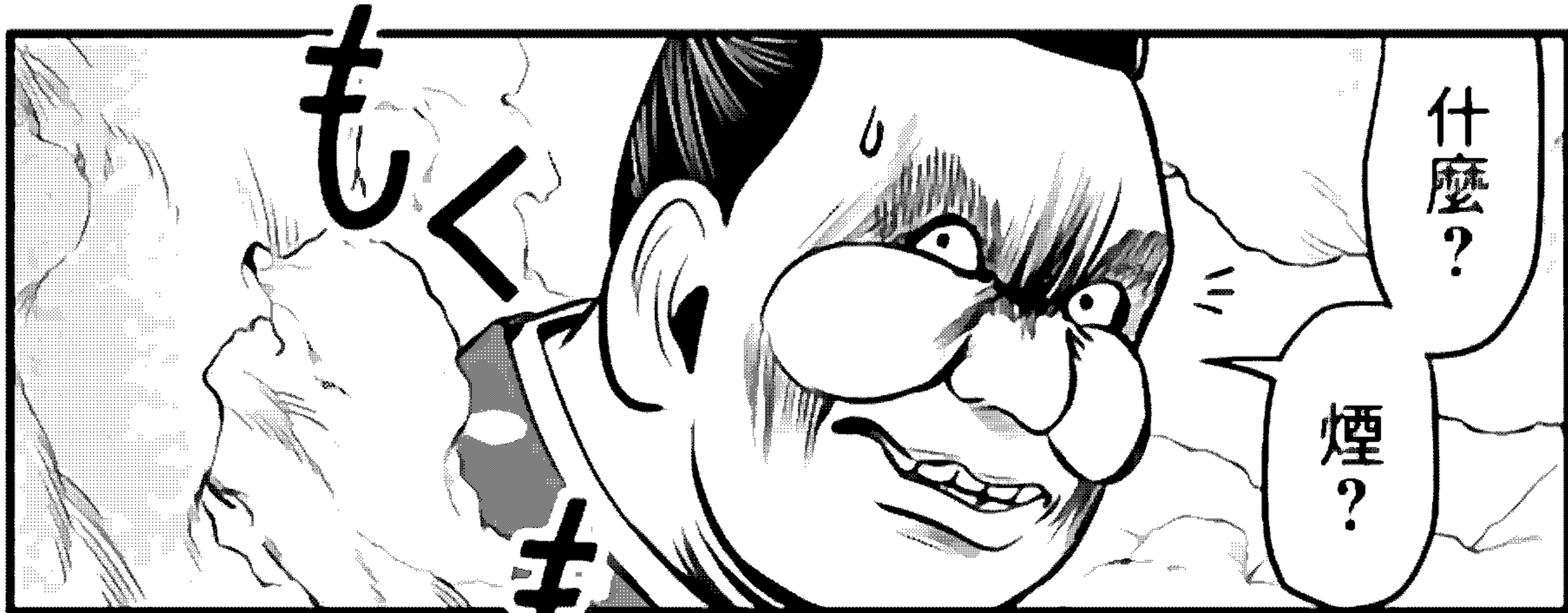
再橫渡淺灘  
派大軍突襲！



正好！！

多一個  
也要拉你們  
陪葬！！





什麼？

煙？



這下沒法  
瞄準了！

看不清  
對岸：



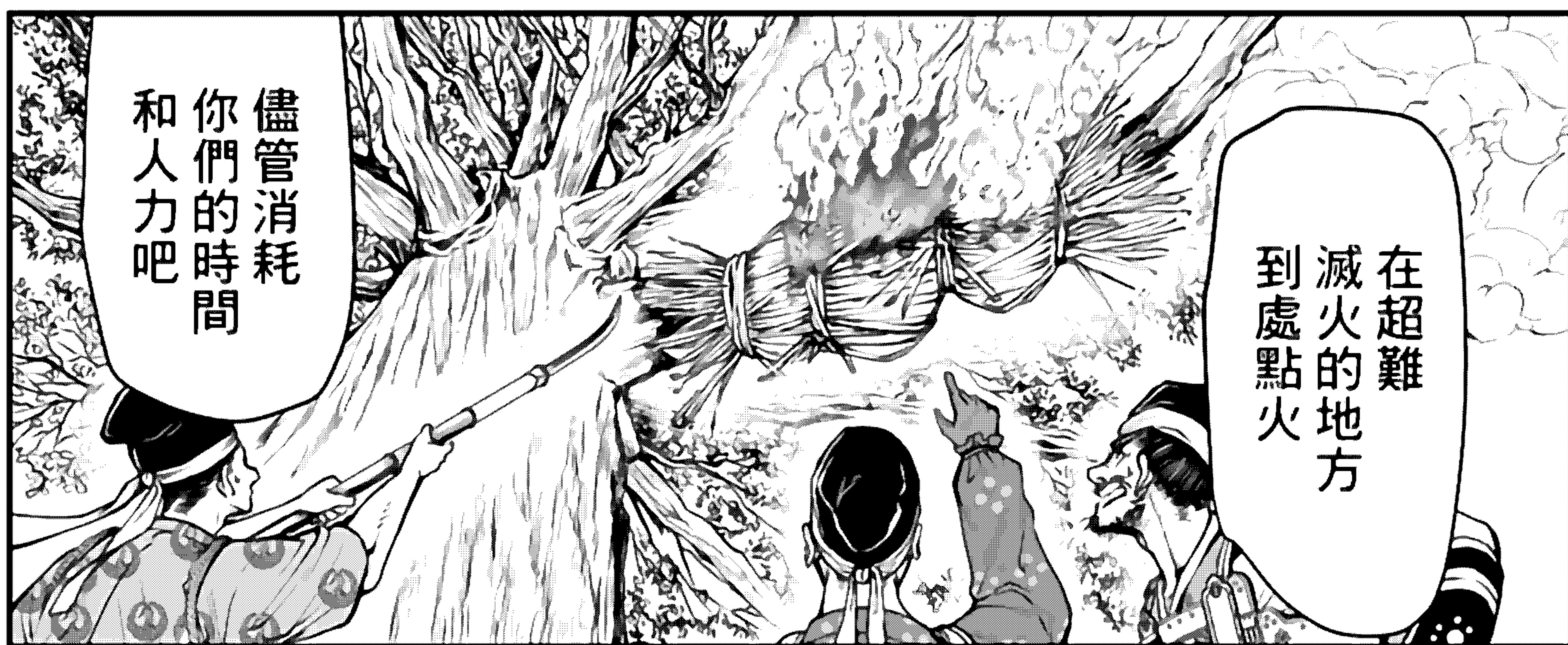
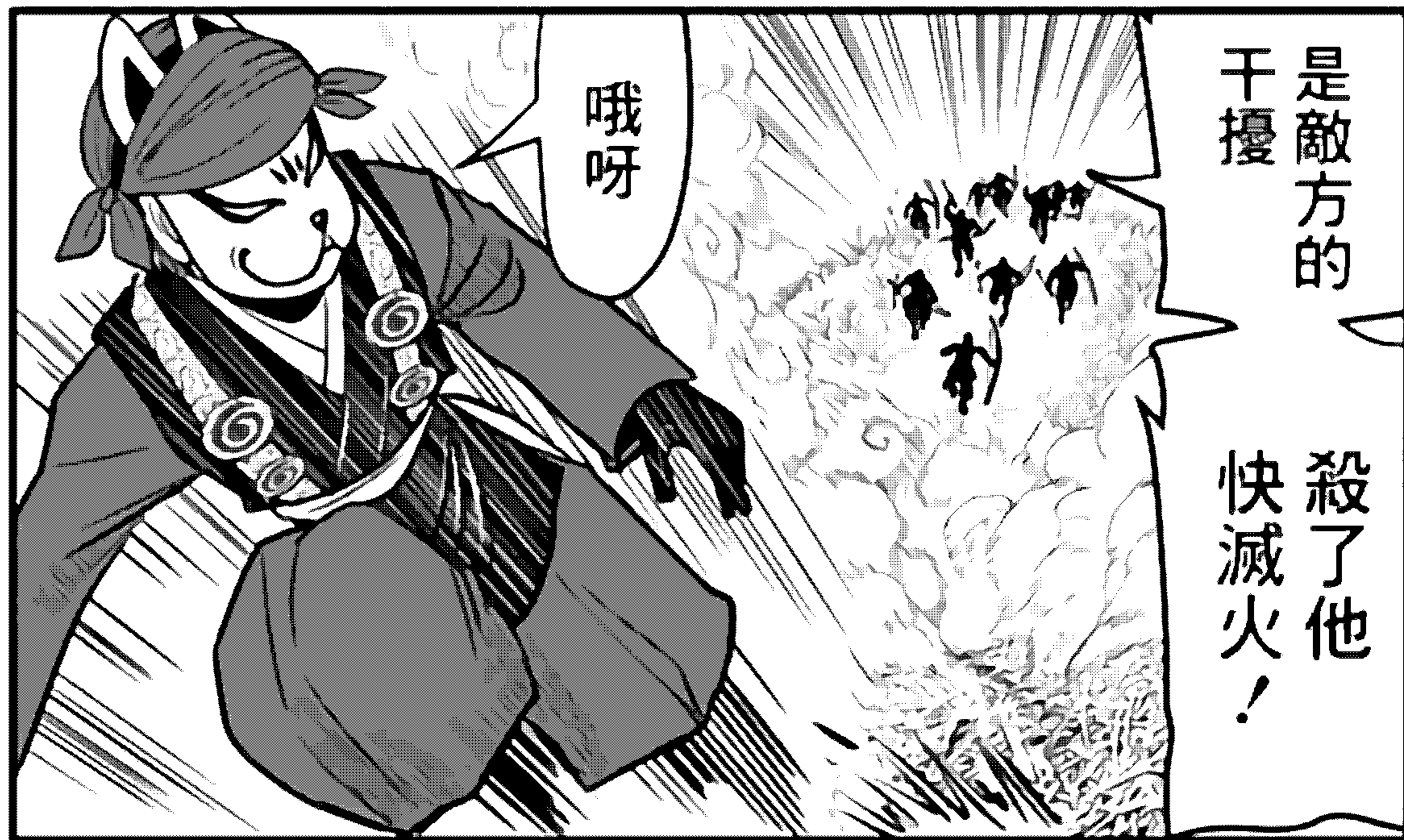
誰啊！

在上風處  
生火的傢伙！

呀——

刈麥剛結束  
用來生火的麥稈  
取之不盡啊







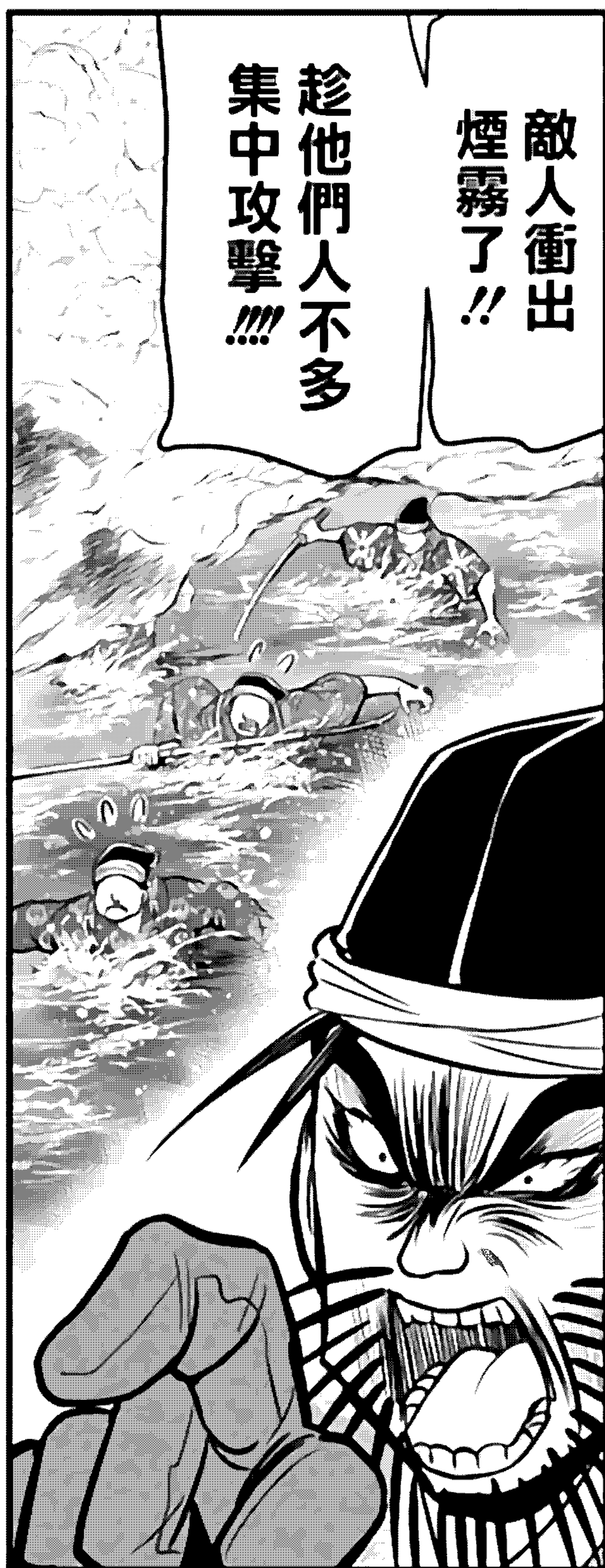


唔哇  
撲

水

水位突然高漲  
游不過去了……

連木樁也被  
沖過來了！



趁他們人不多  
集中攻擊！！！！

敵人衝出  
煙霧了！！

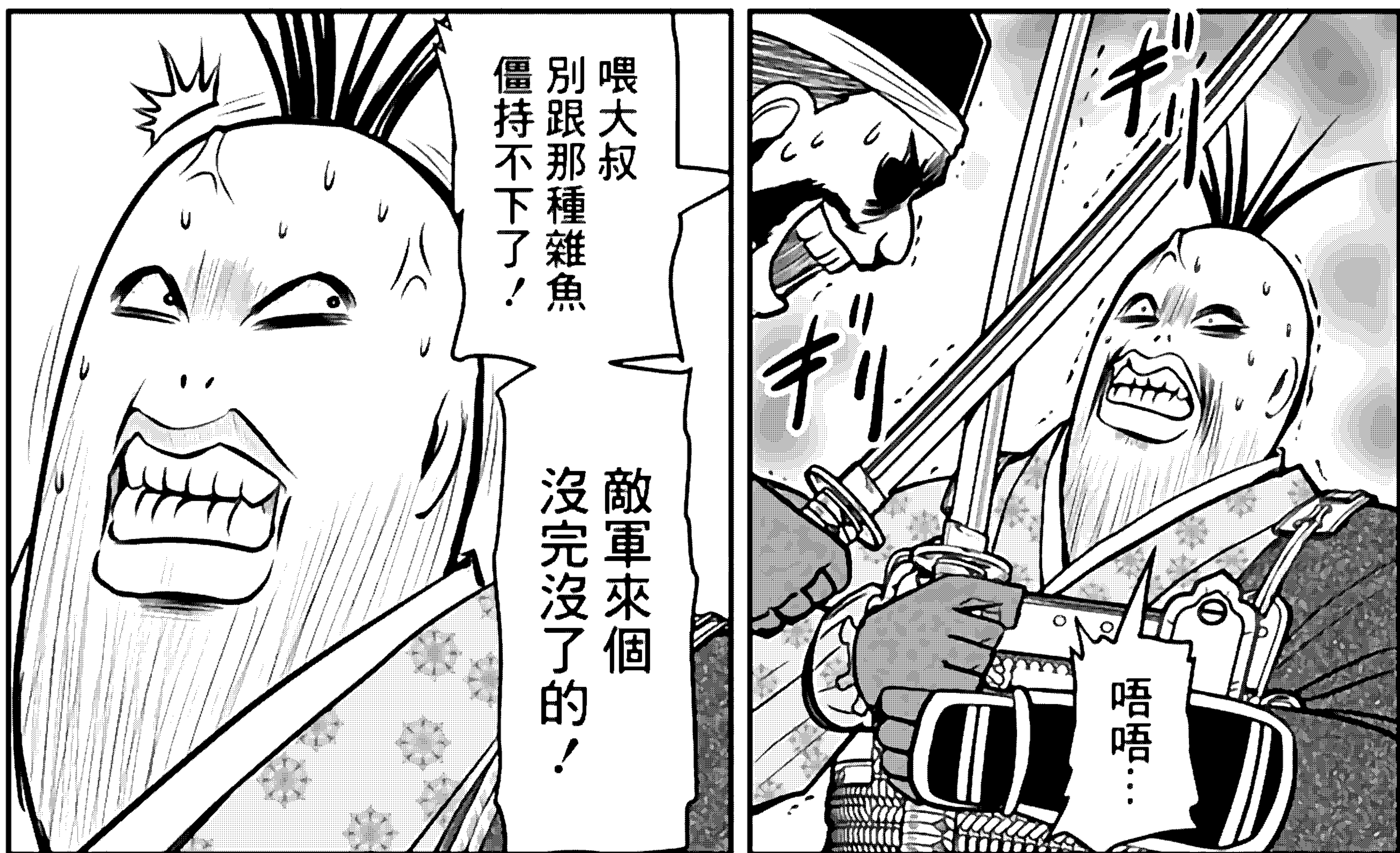
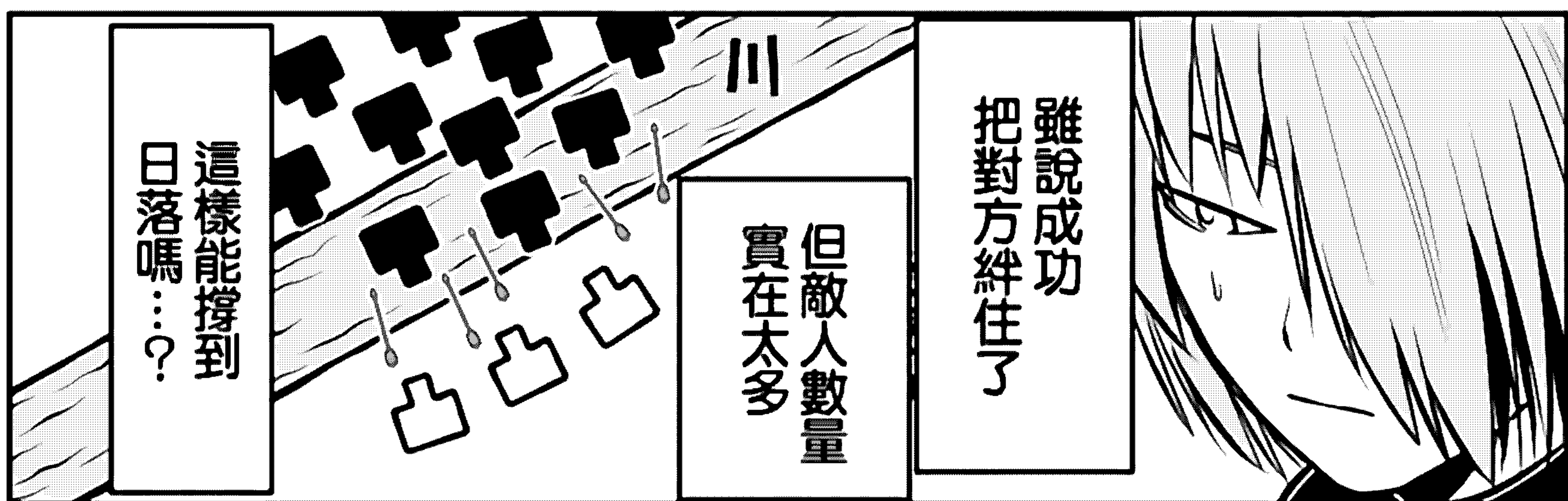


看準敵人渡過  
淺灘的時機  
從上流  
儲水池放水



水流開小些  
就能暫時  
抑制大軍  
渡河的進程





敵軍來個  
沒完沒了的！







哦哦!!

很能幹嘛  
御使大人的  
郎黨!!

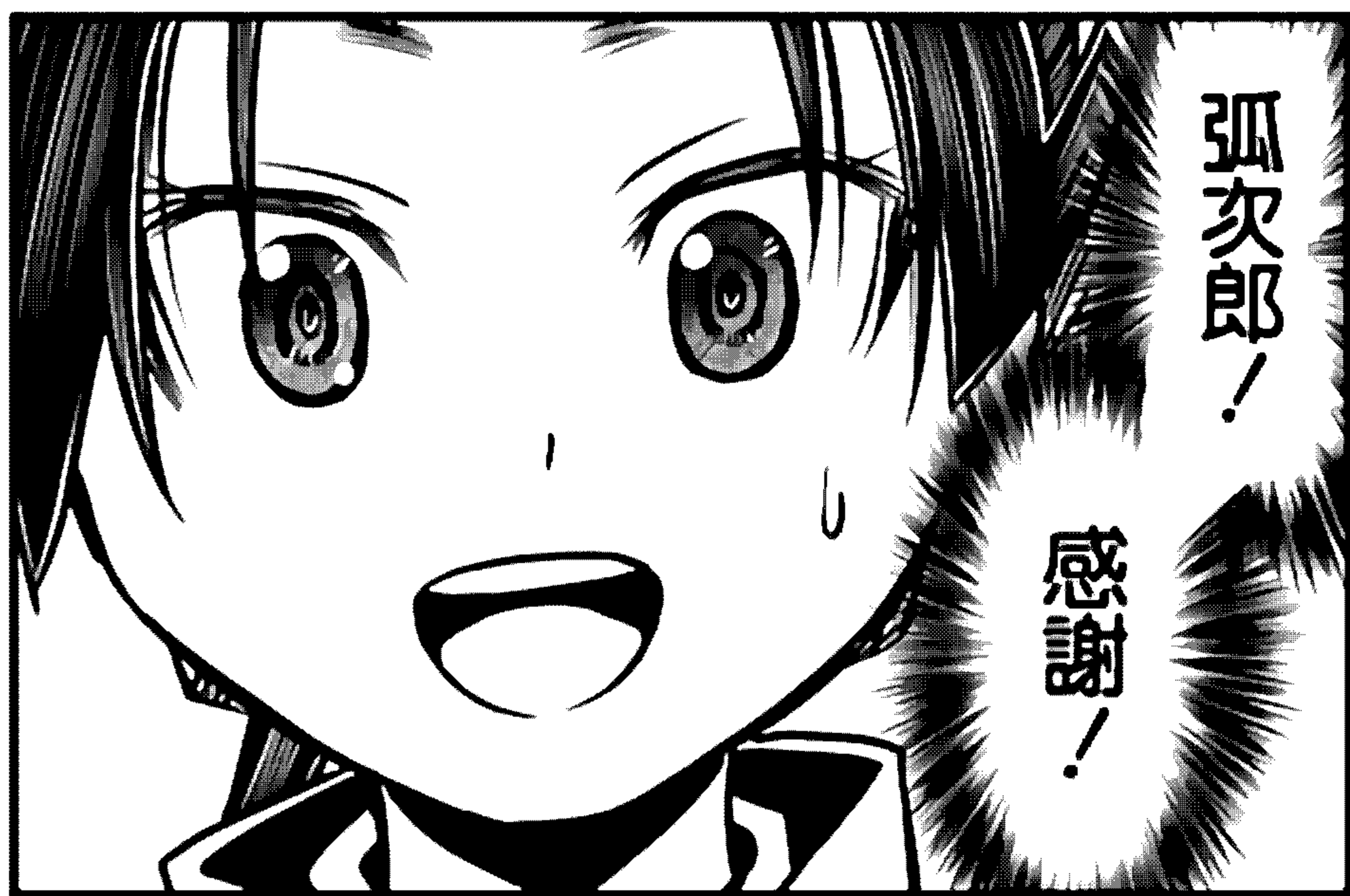


哦啦哦啦  
下一個輪到誰  
國司的走狗!



孤次郎!

感謝!





多虧你的奮戰  
保科黨應該  
能對我們  
刮目相看了！

撤退的提議  
沒準也能  
聽進去吧

太感動了！！  
多麼令人  
景仰的氣魄！！

那孩子也……

和我等  
一同  
赴死嗎！！

吾等也  
不能認輸！！

哦哦！

要展現武士  
臨終的英姿！！

哦哦！



如何  
美不勝收吧  
御使大人!!

心懷喜悅  
英勇赴死的  
武士的面容!!

你以為

彌次郎是在  
為誰拼命:

啊?





★王之血脈的  
冷酷諫言。



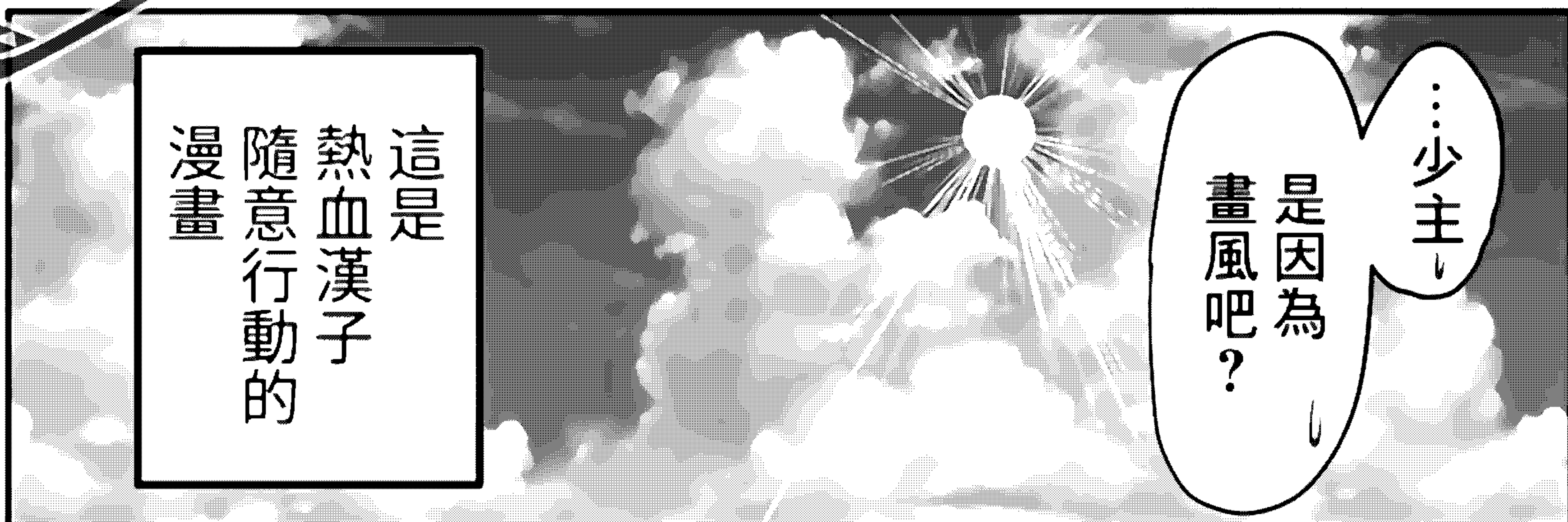
少主溜得快

第27話  
... / 本話完



「少主溜得快」番外篇

中世紀也正值酷暑。





# 解説上手の 若君

季節は春へと進み  
二毛作収穫の時期。  
二毛作ってなに？

**解説 本郷和人**  
1960年 尾有生まれ。歴史の研究者で  
ある東京大学史料館の教授。おっちょこ  
ちらいでテレビや雑誌にも出演する。

## 二毛作について

なぜ二毛作が流行ったの？

まずはじめに基本から。田んぼで米を育て、秋に収穫する。これが何ととっても、農業の基本です。このメインの米の収穫が終わった後にもう一度米を栽培するのが二期作ですね。それから、おおよそは麦なんです、米とは異なる作物を作るのが二毛作、です。

二毛作は鎌倉時代から始まったといわれています。逆に言うと、平安時代にはできなかった。これはなぜか。1つめの理由はやはり農地の豊かさの問題です。ヨーロッパの小麦と異なり、稲という作物は苗床を作って田植えを経て育てますので、連作障害がさほど

ではありません。とはいえ、やはり耕地は次第に痩せてくる。ですから、平安時代には二毛作はムリだった。ところが鎌倉時代になると、犁や鋤を使って土を深く耕すようになります。これで耕地は栄養を回復する。また、犁や鋤を使うときに牛や馬の力を借りるようになります。その糞尿を土地にまいて、ここでも土地が栄養を摂取する。これによって二毛作が可能になった、というわけですね。

理由の2つめは農地が不足してきたからではないでしょうか。平安時代・鎌倉時代初めは、少し手を加えれば農地として具合の良い土地が手つかずであった。ところが鎌倉時代中・後期になると、現地の武士勢力が発展して、そうした土地はみな「開発済み」になってしまった。となると、農業生産力を上げようと思えば、今ある農地の収益性を高めるしかない。そこで二毛作という工夫がなされたということなんだと思います。



↑収穫量を底上げしたにも関わらず、税としてもっていかれるとなると農民の心労がよくわかります。



# 卷末語

>能讓川口老師讀到  
真的不勝榮幸！  
希望今後也能繼續  
同台競技！！

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

Carlos

測試群

648466051

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

壽丸滾滾漢化

順位16 / 21

W J 2 0 2 1 N O 35

第27話

少主溜得快

監製

三十二